

大潮流

潮流をどう捉えるか

2050年の兵庫を考える上で特に押さえておく必要がある社会潮流を6点で整理

1 人口減少・超高齢化

人口減少 = 衰退という発想を捨て、

人口が減っても活力を保ち、一人ひとりが幸せを実感できる兵庫を創る

- 総人口の減少
- 人口の偏在化（都市集中、多自然地域の無人化）
- 超高齢化（伸びる寿命）

2 自然の脅威

気候変動や災害リスクに向き合い、

持続可能な社会づくりを加速させる

- 気候変動（気温上昇、極端な気象）
- 災害の世紀（南海トラフ地震(30年内に70~80%)、風水害の激甚化）

3 テクノロジーの進化

テクノロジーの可能性とリスクを見極め、

県民の暮らしの向上に生かす

- 未来のテクノロジー（自動運転、AI・ロボット、遺伝子改変）
- データの最大活用（あらゆるモノがつながる）

4 世界の成長と一体化

世界との交流を広げ、

世界とのつながりをイノベーションの原動力にする

- 大きくなる世界（増える人口、伸びる経済）
- 一つになる世界（すべての人がネットで結ばれる、移住者の増加）

5 経済構造の変容

産業の変革を進めるとともに、

社会の連帯を重視した経済社会をつくる

- デジタル化の進展（データに価値、コストの低下）
- 資本主義のゆくえ（社会貢献を使命とする公益資本主義）

6 価値観と行動の変化

新たな価値観・行動様式を根付かせ、

新しい時代の豊かさを生み出す

- サステナブル志向の台頭
- 所有から利用へ（シェアリング・エコノミー）
- 固定から流動へ（住まい、雇用）
- 効率・画一から個性・多様性へ（生き方や暮らし方）
- ローカル志向の胎動（地方でのビジネスの広がり）